

## Contents

- 2 ページ上段、造血細胞移植を用いた新たな難病治療の開発  
ーミトコンドリアの細胞間移送を利用した次世代の治療ー
- 2 ページ下段、災害等有事の際も医療継続を可能にする  
リアルタイム臨床情報収集バックアップシステムを開発しました
- 3 ページ上段、Go-Tech 事業「早期発見された小型肺がんの切除範囲を決定する  
ための AI 判定支援システムの研究開発」の共同研究を開始
- 3 ページ下段、臓器移植対策推進功労者として厚生労働省から表彰されました
- 4 ページ上段、大阪大学医学部連携大学院（大阪国際がんセンター）腫瘍医学講座修了について
- 4 ページ下段、「遺伝性がん当事者からの手紙写真パネル展」について
- 5 ページ、今年も LAVENDER RING（ラベンダーリング）を当センターで開催しました！
- 6 ページ上段、第 3 回 スキンケア教室「ステロイド外用剤のいろはを学ぼう」のご案内
- 6 ページ下段、第 9 回 「一緒に体を動かそう！ フレイル予防の会」を開催しました！
- 7 ページ上段、大阪 4 大オーケストラによるクラシック音楽会を開催しています
- 7 ページ下段 【連載】はい、こちら「がん相談支援センター」です
- 8 ページ上段 寄付者ごほうめい
- 8 ページ下段 ご寄付のお願い

## 2 ページ上段

造血細胞移植を用いた新たな難病治療の開発

ーミトコンドリアの細胞間移送を利用した次世代の治療ー、

当センター血液内科 主任部長の横田 貴史は、中井 りつこ特別研究員、施 亨韻技術員らとともに、難病の「ミトコンドリア病」の新たな治療開発について、論文を発表しました。本研究成果は、米国科学誌『Nature Metabolism』に、2024 年 9 月 2 日（月曜日）に公開されました。

研究成果のポイント。

- ・ミトコンドリア の細胞間移送 を利用した新たな治療「ミトコンドリア移植」を開発
- ・これまで有効な治療法がなく難病とされていたミトコンドリア病 のマウスモデルに「骨髄移植」や「ミトコンドリア移植」を行い、病気の症状緩和と寿命の延長効果 を証明
- ・ミトコンドリア病をはじめとする難病に対して、次世代 の治療への応用に期待

研究成果が社会に与える影響（本研究成果の意義）。

本研究成果により、骨髄移植および単離ミトコンドリアの移植によって、リー症候群のモデルマウスの全身の細胞でミトコンドリア機能が回復し、神経症状を緩和させ、寿命を延ばすことが示されました。このことは、複雑な病態であるミトコンドリア病の次世代の治療の提示だけでなく、ミトコンドリアに関する医学・生物学の研究分野に新たな境地を開いたと考えられます。

当センター血液内科は、これからも造血細胞移植治療の発展と難病の克服を目指して取り組んでまいります。研究内容や特記事項など詳しい内容は、当センターホームページをご覧ください。

<https://oici.jp/hospital/news/7568/>

## 2 ページ下段

災害等有事の際も医療継続を可能にする

リアルタイム臨床情報収集バックアップシステムを開発しました。医療情報部 西村 潤一。

現在、連携協定を締結している国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所とは、「AI 創薬プラットフォーム事業」として共同研究を行っています。その中で当センター、医薬基盤・健康・栄養研究所、TXP Medical 株式会社で研究開発したリアルタイム臨床情報収集バックアップシステムが実現しましたのでプレスリリースを行いました。

当センターでは 2024 年 1 月 1 日に病院情報システムの更新を行いました。この病院情報システムの中には検査結果や記録などが日々蓄積されています。しかし、病院機能がダウンするような災害時、ランサムウェア感染時、システム障害時には病院情報システムの情報が閲覧できない状況が起こりえます。このような場合でも最新の患者情報が閲覧できるシステムを構築しました。病院情報システムから構造化したデータをクラウドに保管し、有事の際にはクラウド経由でデータを閲覧する仕組みです。

今後はクラウドに蓄積される構造化データを研究で利活用できるように準備を進めます。また、利活用のためには患者さんからの同意は必須であり、研究内容の患者さんへの説明 AI の開発を竹中 聡先生を中心に日本 IBM 株式会社と共に行っていきます。

## 3 ページ上段

Go-Tech 事業「早期発見された小型肺がんの切除範囲を決定するための AI 判定支援システムの研究開発」の共同研究を開始。

当センターと日本金銭機械株式会社は、令和 6 年度「成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）」に採択されたことを受け、肺がんの切除範囲の決定を支援するシステムを研究・開発します。本共同研究の背景。

肺がんは、早期に発見されても検査などで捉えにくい微小転移を既に伴っていることがあり、再発リスクが高いといわれています。

画像検査技術の発達で早期発見が増えたことで、部分切除や区域切除などの小規模切除（以下、「縮小手術」という）にて、肺機能を温存し患者さんの生活の質（以下、「QOL」という）を高めることが望ましいという考えが出てきましたが、縮小手術では微小転移を取り残して再発を来すケースがあることから、QOLと根治性のバランスを考えた手術方法の選択が求められています。

当センターでは、肺がん術中捺印細胞診（以下、「本細胞診」という）にて転移をもたらす得る肺がんの悪性度を把握し至適な手術方法を模索してきましたが、熟練を要するため他施設での普及が進んでおらず臨床的な評価ができていないという課題があります。

本共同研究の概要。

本細胞診の熟練に要する負担軽減のため、当センターの豊富な経験や臨床データと、日本金銭機械株式会社の紙幣を識鑑別する技術などを組み合わせ、AIの支援システムを研究・開発します。詳細は、当センターホームページをご覧ください。<https://oici.jp/center/news/3530/>

3 ページ下段。

臓器移植対策推進功労者として厚生労働省から表彰されました。医療安全管理部門 消化器外科 梅下 浩司。

2024年10月20日に米子市で開催された臓器移植推進国民大会におきまして、厚生労働大臣からの感謝状を授与されました。当日、表彰された方々を代表して行ったあいさつは以下の通りです。このたびは功労者として表彰いただき、大変光栄に存じます。

少し私自身のことを話させていただきますと、卒業後、大学での研修を終えた後に出張した市立病院で、食道静脈瘤から出血した肝硬変の患者さんをなす術もなく失い茫然としていた時に、肝移植を行えばその方が助かった可能性のあることを知りました。その後大阪大学第二外科の肝移植の研究室に戻り、恩師 門田 守人先生に巡り合い、本邦での脳死肝移植の実現と発展を目指して励んでまいりました。残念ながら門田先生は昨年急逝されましたが、2023年の脳死肝移植が100例を超えたことをきくと喜ばれ、しかし、まだまだ助かる命があるはずだと仰ることと思います。

本日功労者として表彰された方々は、臓器移植に係るいろいろな場面で活躍され、本邦の移植の発展に貢献して来られました。皆さまを代表してお礼を申し上げますとともに、日本、そして世界の移植医療のさらなる発展を祈念して、私のごあいさつとさせていただきます。

この報告を終えるに当たり、医療安全管理部門長としての本務に加え、臓器移植医療に関与することをお許しいただきました松浦総長、左近名誉病院長、大植病院長、そして当センターの皆さまに感謝申し上げます。

4 ページ上段

大阪大学医学部連携大学院（大阪国際がんセンター）腫瘍医学講座修了について。呼吸器外科 副部長 馬庭 知弘。

私は診療や研究の幅をより一層広げるために、大阪大学医学部連携大学院（大阪国際がんセンター）腫瘍医学講座に入学し、大植雅之病院長の指導の下、肺がん縮小手術 の臨床研究を行ってきました。2022年に報告された本邦からの研究結果（Saji et al. Lancet 2022）を受け、末梢小型肺がん に対しては区域切除 とリンパ節郭清 が標準術式の一つとなります。しかし、リンパ節郭清は肺葉切除とともに発展してきた背景があり、区域切除におけるリンパ節郭清の範囲は明確ではありませんでした。そこで私たちは区域切除におけるリンパ節郭清の問題点（①非隣接葉間リンパ節、②縦隔リンパ節 郭清範囲、③左右の下縦隔リンパ流経路）を挙げ、研究報告させていただきました。今後の肺がん縮小手術を受ける患者さんにとって役立つ研究となれば非常にうれしく思います。最後に、ご指導いただいた大阪大学呼吸器外科学講座 新谷康教授、関係者の皆さまには深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

#### 4 ページ下段

「遺伝性がん当事者からの手紙写真パネル展」について。遺伝性腫瘍診療科 中島 健・井上 田鶴子 2024年11月1日から2025年1月31日まで、特定非営利法人クラヴィスアルクスと共催で開催しました「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展について、ご報告させていただきます。

遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)はBRCA1またはBRCA2の生殖細胞系列での病的バリエーション（疾患と関係のある遺伝子の変化・変異）を原因とする、常染色体顕性（優性）疾患です。乳がん、卵巣がん・膵臓がん、前立腺がんなどの生涯リスクが上がるということが報告されています。2020年度より、乳がん患者さんの一部および卵巣がんの方はこの遺伝子検査（BRCA Analysis）が保険収載され当センターでも実施数が増えました。

遺伝性腫瘍はHBOCの他にもリンチ症候群、家族性大腸腺腫症、VHL症候群など多岐にわたります。遺伝性腫瘍と診断された場合には、遺伝カウンセリングにて、ご自身とご家族の今後の対策について具体的に情報提供いたします。診断された患者さんにはご自身の「がん」治療に加え「遺伝」についてお悩みになります。さまざまなお考え・お悩みを経験された当事者の方のお声を、当センター2階の乳腺・内分泌外科および婦人科外来を中心にパネルで展示いたしました。遺伝性のがん（遺伝性腫瘍）への理解を深めていただけたのではないかと考えております。

また「がん」の「遺伝」に関してご心配の方はどなたでも当センターで相談可能です。がんの経験の有無も問いませんし、紹介状がなくても構いません。ご興味がおありの方は、当センターのホームページをご覧くださいと幸いです。遺伝性腫瘍診療科ホームページはこちら。

<https://oici.jp/hospital/department/tyuuousyuj/genetic-familial/>

#### 5 ページ

今年もLAVENDER RING（ラベンダーリング）を当センターで開催しました！アピアランスケアワーカーキンググループ／アヤ世代サポートチーム／血液内科 多田 ゆうま

LAVENDERRINGは『すべてのがんサバイバーを、笑顔にする。』をスローガンに、がんサバイバーシップの課題にサバイバーの「笑顔」という切り口で光を当て、「社会のがんサバイバーに対する視

点を変える」ことを目的とする取り組みです。大阪をはじめとする全国各地で Makeup&Photos（写真撮影会）とポスター展が開かれているだけでなく、近年は海外での開催や子宮頸がん予防啓発を目的とした高校生アイデアフェスの開催など幅広い社会活動となっています。昨年より当センターでも LAVENDERRING の皆さまと協働しており、2024 年も 10 月 1 日に 1F 大講堂にて当センターに通院中の患者さんら 13 組の「笑顔」のポスター撮影を無事に終えることができました。大阪府からのご要望で東大阪市の府立中央図書館にて 2024 年 9 月 27 日から 2024 年 10 月 9 日までポスター展が開催され、13 組のポスターも早速展示されました。

11 月には、谷町四丁目駅への地下道を含むセンター内・外でも昨年同様にポスター展が開催されました。患者さん・ご家族・医療者だけでなく会場を通られた一般の多くの方にポスター展をご覧いただいたことで、全てのがんサバイバーが笑顔で生きられる社会の実現に少しでもつながることを祈念しております。

## 6 ページ上段

第 3 回 スキンケア教室「ステロイド外用剤のいろはを学ぼう」のご案内。SPRASH チーム 8 階までしこ病棟 谷口 純子。

今年度はスキンケア教室の開催をホームページ上での動画配信に限定して行っています。

今回の内容は「がん薬物療法の皮膚障害で使用されるステロイド外用剤について」です。SPRASH チームの協條薬剤師より「ステロイド外用剤について～種類と使い方～」について、腫瘍皮膚科大江医師より「ステロイド外用剤の注意点」について Q&A 形式でお伝えしています。ステロイド外用剤はさまざまな皮膚疾患に用いられ、効果もありますが、副作用もあることが知られています。【もろ刃の剣】であるステロイド外用剤を使用していくためには、正しく使い、正しく副作用を知ることが大切になります。スキンケア教室で定期的にテーマとして取り上げているこのステロイド外用剤、動画で分かりやすく解説していますので、ぜひご視聴ください。

ホームページ上では過去のスキンケア教室の動画を順次ご視聴いただけます。当センターのスタッフがさまざまなテーマでがん治療や皮膚障害、スキンケアについて解説しています。ご案内のチラシを外来や患者交流棟に置いていますので、興味がありましたらぜひ手に取って、ご視聴いただければと思います。

## 6 ページ下段

第 9 回「一緒に体を動かそう！ フレイル予防の会」を開催しました！事務局 マネージャー 福岡朝子。

11 月 28 日に、入院患者さんを対象に第 9 回「一緒に体を動かそう！フレイル予防の会」（主催：看護部、リハビリテーション科/協力：患者交流棟 ルネサンス運動支援センター）を開催し、椅子に座ったままできる運動を患者さんと一緒に行いました。参加される前は、入院生活で心身の活力が低下したという患者さんもおられましたが、参加後のアンケートには、ルネサンス運動支援センターのス

スタッフの楽しい話もあり「こんなに体を動かしたの初めて」「すごく気持ち良かった」と喜んでいただきました。これからもより多くの患者さんに気軽に運動に触れてもらえるよう取り組んでまいります。

#### 7 ページ上段

大阪4大オーケストラによるクラシック音楽会を開催しています。

当センターでは、大手前への移転を契機に、患者さんのがんストレスの軽減を目的として、月に一度、大阪4大オーケストラ（大阪交響楽団・大阪フィルハーモニー交響楽団・関西フィルハーモニー管弦楽団・日本センチュリー交響楽団）によるクラシック音楽会を開催しています。

毎回、さまざまな楽器の編成で、クラシックやポピュラー音楽などバラエティー豊かな曲の演奏や、奏者による楽器紹介や曲の解説も行っています。

来場された入院患者さんからも「前向きな気持ちで治療に向き合う元気を頂きました。」などうれしいお声を多く頂いています。

今後も多くの入院患者さんに楽しんでいただけるよう工夫してまいります。現在、入院患者さん限定とさせていただいています（ご面会や付き添いの方はご入場いただけません）

#### 7 ページ下段

はい、こちら「がん相談支援センター」です。

がん相談支援センター 小林 加代子。

File17. ご存じですか？ 訪問看護。

訪問看護とは、看護師などがご自宅を訪問し、病気や障がいに応じた看護を提供するサービスです。医師が必要と判断し、指示書を発行すれば、医療保険または介護保険を利用して受けられます。年齢を問わず、子どもから高齢の方まで幅広く活用できるサービスです。自宅で療養を続けることに不安がある場合、訪問看護を活用することで安心して過ごせる環境が整うかもしれません。また、ご家族の負担軽減にもつながります。

利用する際には病院スタッフと相談しながら、具体的な支援内容を考えていきましょう。

訪問看護の事業所には、24時間365日対応可能なところや、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が在籍しているところなど、それぞれ特徴があります。

地域にどのような事業所があるかをお知りになりたい時は、がん相談支援センターをご活用ください。訪問看護では、以下のようなケアが提供されます。

- ・健康状態の観察と管理
- ・医療処置（点滴、吸引、褥瘡処置など）
- ・お薬の管理や相談
- ・療養生活や日常生活の相談・支援（衛生ケア、排泄ケア、栄養ケアなど）

- ・医療機関との連携
- ・リハビリテーション
- ・終末期ケア・緩和ケア

## 8 ページ上段

ご寄付について

寄付者ごほうめい 2024年6月1日～9月30日

福田 恩全様、上村 雄一様、大西 健次様、高山 富士夫様、赤松 直樹様、枚田 勘一郎様、梨子田 未来様、加藤 順子様、喜屋武 倫子様、岡田 和男様、高田 定俊様、金 哲雄様、阿部 有加子様、三菱電機ライフサービス株式会社 大阪支店様、株式会社ハイメディック 代表取締役社長 伏見 有貴様、柳田 榮様、王 佳寧様、原 明伸様、大原 大治様、岡田 吉高様、濱口 安孝様、小牧 奈津美様、水嶋 圭三様、畠山 善行様、江畑 妙子様、谷口 千恵様、丸山 和喜様、楠 慎一郎様、藤本 加壽子様、吉田 裕稔様、日野 俊明様、豊山 厚子様、圖子 仁美様、篠原 結花様、内田 恵三様、武山 美紀様、戸練 香穂里様、蔭山 秀一様、竹内 二郎様、竹内 夙子様、野口 喜代美様、木下 栄二様、栗野 勝義様、行者 信哉様、仲道 尚代様、佐藤 寛様、村上 史郎様、近藤 幸夫様、松下 永子様、三上 太様、程岡 幹之様、池田 文恵様、辻本 容治様、センコー株式会社様

他 匿名者 23 名

このたびもさまざまな個人や法人のかたがたから、貴重なご寄付を頂きました。ありがとうございます。温かいお心遣いに感謝するとともに、ご厚意に報いるべく、これからも患者さんにより良い医療とサービスを提供してまいります。

## 8 ページ下段

ご寄付のお願い

当センターは、常に「患者さん目線」で治療に当たるセンターでありたいと考えています。患者さんの治療環境の改善や充実した医療を提供していくため、皆様からのご支援をお願いしています。

奥付

オーアイシーアイだより 2024年秋号〈季刊〉

特定機能病院／地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

発行 大阪国際がんセンター

編集 事務局 総務・広報グループ

〒541-8567 大阪市中央区大手前 3-1-69

TEL 06-6945-1181 (代表)

2024年10月発行

◆電車でご来院の場合

大阪メトロ「たにまち四丁目駅」北改札口から徒歩約5分／京阪電車「天満橋駅」東改札口から徒歩約10分

◆バスでご来院の場合

大阪シティバス「大阪城大手前駅」より徒歩4分

◆お車でご来院の場合

東大阪線「ほうえんざか出口」より約5分／東大阪線「森のみや出口」より約8分

【提携駐車場】

- ① エコロパーク大阪府庁駐車場
- ② 谷町筋地下駐車場（入り口は北向き1カ所のみ）

ほじょけんも同伴いただけます

ホームページ <https://oici.jp/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/OICI.jp>

ライン <https://lin.ee/ZOcDHhU>